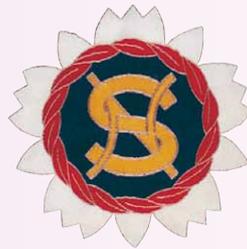


# 楓葉



【2016年8月 同窓会誌】



独立行政法人 国立病院機構  
横浜医療センター附属横浜看護学校同窓会

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3丁目60番2号  
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター附属横浜看護学校内  
TEL 045-851-2621 TEL 045-853-8322 (学校 直通)

発行責任者 佐竹 一枝

＝2016年6月4日 同窓会規約改定＝

第21条 個人情報の取り扱いを次の通りとする

1. 入会時に提出された個人情報は、役員と同窓会事務局によって取扱い、同窓会に関する業務連絡の際に使用することとし、その他の目的のためには使用しない。
2. 同窓会活動の写真撮影を行った場合、あらかじめ利用目的を公表または通知し、会報誌・ホームページに写真を使用する。
3. 個人情報と写真データは、同窓会事務局で管理する。
4. 業務遂行上、個人情報を取り扱う業務を外部へ委託する場合は、委託業者との間で覚え書き等を締結し、委託先を適切に管理する。

## 会長挨拶



独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター附属横浜看護学校  
同窓会会長 佐竹 一枝

謹啓 同窓生の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
日ごろより、同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

平成28年3月卒業生78名全員が仲間入りし、同窓会員2057名となりました。2月には初めての行事参加となります、卒業生の記念すべき植樹式に列席致しました。3年間の足跡を残し、期待と不安を秘めながら巣立つ準備をし始めた後輩を見守りました。

本年6月4日（土）母校研修室において、定例幹事会が開催され、平成27年度活動報告・会計報告、平成28年度活動計画案・会計案が全会一致で承認されました。また、個人情報の重要性を認識し、同窓会としての社会的責務と考え、本会が収集した個人情報の取扱いについての「個人情報取扱規定」が承認されました。新会員51回生の三宅 徹さんも参加され、学年を超えた親睦が図られました。

少子高齢化・2025年問題を抱え、さらに医療が高度化・多様化する現在、介護ロボットを導入したモデル事業も始まっております。専門職としての看護が期待され、評価される中、これまで以上に人となりやコミュニケーション能力、地域など様々な連携が求められます。

楓葉祭に参加して4年目を向かえます。今年度も学校行事へ参加させていただき、同窓として楽しく親睦を深め、後輩が自分の目指す道を思い描くことに一役買うことができるような参加ができればと考えています。

今後とも、学校のご支援と皆様のご協力を頂きまして、会員にとって頼もしく身近な存在となるよう微力ではありますが、精一杯努めてまいります。また、皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



51 回生卒業式写真

## 新学校長ご挨拶



独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター附属横浜看護学校  
学校長 平原 史樹

2016年4月1日付で新しく着任しました学校長の平原史樹です。前職の横浜市立大学附属病院病院長から異動転任してまいりました。どうかよろしくお願い申し上げます。

伝統ある本校の歴史と実績をしっかりと携えられ、日々ご活躍されている同窓の皆様にはこころより御礼と敬意を表したく存じます。さて皆様の母校である本校では本年も先般の入学式で熱意に満ちた、元気あふれる90名の第54回生を迎えることができ、また学校はあらたな年輪を重ねることになりました。

日々進歩する医療はなお一層、高度・先進なものとなる一方、とりまく社会環境は超高齢化時代の到来に備えて地域社会での包括ケアの在り方、病院病床の再配分を目途とした地域医療構想計画等、私たちを取り巻く医療・ケアの環境は大変複雑な様相を呈してきております。目まぐるしくかわる時代の中にあっても、看護は医療の中で根幹を占める重要な業務として患者さん、おひとりおひとりに丁寧に対応できる豊かな人間性を求められるとともに、近年の高度な医療技術も習得しておかなくてはなりません。幅広い人間性を涵養し、高度な医学知識、看護理論、看護技術に加えて国際性を持ち合わせた真の医療プロフェッションを育てる場として本校はきわめて重大な使命を担っており、その教育、研修には皆様方同窓の方々の大いなるご支援またご指導をいただくことになるものと考えております。学校では日々、教員、スタッフが丸となってより良い看護教育の実践を推進しております。皆様方におかれましても、ぜひ同窓のお立場として、お互いを合わせ、連携する中でご自身、またお仲間たちとなお一層のご支援をいただき、また皆様のご発展、ご活躍をされますことをお祈り申し上げます。

## 楓葉祭参加

平成27年10月31日（土）

同窓会としては3回目の参加でした。同窓会をもっと知ってほしいという目的で、今年も学校1階の玄関近くのブースをお借りし、お茶・お菓子を準備し同窓会の活動紹介を中心に、在校生とのコミュニケーションをはかりました。遠慮している学生も多かったので、今年度はアピールの方法を工夫していく予定です。



## 看護学校現況について



独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター附属横浜看護学校  
副学校長 萩原 一美

平成28年4月1日付で、副学校長として着任致しました。萩原と申します。前職は、埼玉病院の看護部長をしておりました。教育の現場は5年ぶりですので、過去のことを思い出しながら、教育主事や教員の協力を得て、副学校長の職を担わせていただいています。

同窓会の皆様には、日頃より看護学校の運営につきまして、あたたかいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年度の同窓会総会後の看護学校の近況について、ご報告致します。

10月には恒例の楓葉祭が行われ、今時の若者達らしく音楽や踊りなど今までとは少し違った趣向を凝らしたようです。

2月の国家試験には、全員元気に受験ができました。また、卒業記念としての植樹式に同窓会の皆様に御参加いただき、卒業生も感激しておりました。

3月には、第51回生の卒業式が挙行され、78名が巣立っていきました。

4月に入り、第54回生90名が入学し、247名でスタートしました。

学校の異動は、私をはじめ、山中教育主事、岩山教員、日野川教員が新たに加わり、教員13名で、教務助手4名、事務助手2名、総勢19名の学校職員で247名の学生の支援をしていきます。

臨床の現場では、2年ごとの診療報酬の改定により、変化が著しく、看護基礎教育と現場の乖離の現状は改善されていないと感じている日々です。今後カリキュラム改正がされるという動きもあるようですが、「考えながら行動できる看護師の育成」を目標に、思考力をもった卒業生を送り出せるよう、職員が一丸となって支援してまいりますので、今後ともご協力をいただけますようお願い申し上げます。

## 51回生植樹式参加

平成28年2月25日（土）

2月の寒い日でしたがお天気も良く、51回生の皆さんも卒業式目前のせいか、皆晴々とした表情だったのが印象的でした。学校長、副学校長より土掛けの儀式がスタートし、20分程で無事に終了しました。（同窓会も土掛けをさせていただきました。）植樹された樹木はライラック(リラ)、花言葉は友情・思い出・謙虚だそうです。これからも、51回生の皆さんをこの地で、優しく見守ってくれることと思います。



## 男性看護師のいま

2001年に保健婦助産婦看護婦法が、保健師助産師看護師法に改正された。それまで女性看護師は「看護婦」、男性看護師は「看護士」であった。2002年より、男女共に「看護師」に統一された。

我が校は平成8年度、34回生より男子学生が入学。男子1期生は3名が卒業。今日までに102名の男子学生が卒業し、様々な場で活躍されています。今回は男性卒業生3名の方にコメントを寄せていただきました。



右上が筆者



### 34回生 梅田正宗

旧校舎で看護を学び10数年。初の男子学生受け入れのため先生方をはじめ多くの方々準備により無事に入学できました。また入学後も沢山の学校および病院の方々の支えにより卒業することができました。今、こうして看護師を続けていられるのも、その方々のお蔭さまと感謝して日々精進しております。

34回生は、個性豊かな学生の集まりだったので多方面で活躍していると思います。同期の男性看護師2人もそれぞれの施設で、さらに親となり勤務しているとのこと。

平山先生、加藤先生、猪股先生、柴田教育主事、34回生のみなさま、お元気ですか？

梅田は、34回生に負けない個性を発揮できるチーム作りに邁進しておりますよ。



46回生  
田尻高基

横浜看護学校を卒業して、横浜医療センターに就職しました。手術室に配属され5年目です。手術室は特殊な技術を要する場所で、自分にできるのであろうかと不安に思っていた新人の時。周りには、同校出身の先輩看護師の方もいて、親近感を感じた覚えがあります。昨年度は研修で箱根病院へ半年間、慢性期看護の勉強をしに行きました。初めての勤務地で慣れない看護手技に戸惑いの日々でしたが、そこでも同窓の先輩看護師の方と出会い、なんだかほっとしました。同窓会の会合に参加したことがありませんでしたが、同窓会があることで、人と人がつながっていくのだと思いました。これからは、同窓会の活動にも参加していきたいと思えます。よろしく願い致します。



46回生  
高野 亮

横浜医療センター附属横浜看護学校を卒業し、6年目を迎えました。看護学生時代を振り返ると、楽しかった昼休みのバレーボールや辛かった看護実習、色々と怒られたこと等、思い出すことは沢山あります。当時、お世話になった先生方も横浜医療センター出身の後輩に聞く移動などもあり、少なくなっているようで寂しい感じもします。看護師として勤務する中で、自分は周りの同期や先輩にも恵まれ、充実した日々を送ることができています。看護学校での沢山の経験が今の自分の基礎となり、自信にも繋がっていると思います。今後も日々患者さんと向き合い、患者さんに寄り添った看護師になれたらいいな～と思っています。

## 平成28年度 役員

会長 佐竹 一枝 (20回生)  
副会長 鈴木 雪子 (19回生)  
坂口 佳織 (36回生)  
書記 米澤 繁子 (10回生)  
甲田 まゆみ (25回生)

会計 村松 真佐子 (18回生)  
岩竹 絵美 (42回生)  
会計監査 志村 みどり (9回生)  
濱 法子 (14回生)

## 平成28年度 幹事

1 回生 井坂 洋子	24 回生 崎山 和美	44 回生 田村 佳代子
2 回生 丸貴 ミサ	25 回生 甲田 まゆみ	佐藤 春加
3 回生 地蔵 テイ子	26 回生 長尾 久栄	45 回生 勝間田 昌寛
4 回生 神代 アキエ	27 回生 富浦 裕	樋渡 彩子
5 回生 深石 みつ子	28 回生 木内 由紀子	寺内 舞
6 回生 井上 ふさ子	29 回生 小堺 史恵	46 回生 伊藤 沙織里
7 回生 稲垣 文子	30 回生 中野 理恵	小山田 真美
8 回生 曾我 ふじ恵	31 回生 松岡 康子	田尻 高基
9 回生 寺沢 秀代	32 回生 小林 里美	中曾根 未央
10 回生 米澤 繁子	33 回生 小林 美樹	荒木 大地
11 回生 小泉 由美子	川辺 美里	坂本 健太郎
12 回生 大幡 洋子	34 回生 巨瀬 里美	藤川 仁子
13 回生 市川 美紀子	35 回生 伊藤 直子	森 麻美
14 回生 濱 法子	36 回生 坂口 佳織	47 回生 早川 敦子
15 回生 関戸 富子	37 回生 池江 真彦	村上 裕子
16 回生 川口 妙子	38 回生 成田 真代	48 回生 新沼 美穂
17 回生 杉山 トミ子	39 回生 佐々木 博之	平田 彩香
18 回生 村松 真佐子	40 回生 斉藤 彩	49 回生 角 俊一郎
19 回生 鈴木 雪子	41 回生 霜鳥 耕輔	佐藤 太一
20 回生 佐竹 一枝	川上 泰史	久永 葉子
21 回生 加藤 佳代子	42 回生 岩竹 絵美	平山 光智
22 回生 江口 裕子	43 回生 平沙 敬悟	50 回生 中村 智
23 回生 小谷 知子	三澤 宏美	51 回生 三宅 徹

### 《 幹事の役割 》

- 1.自分のクラスメートの住所把握：  
変更時や不明者の住所判明時は、役員に連絡。
- 2.幹事会への出席：年1回（6月第1土曜日）。  
やむを得ず欠席の場合は、責任を持って代理出席者を立てる。
- 3.同窓会事業への参加：  
幹事交代時は、次期幹事を責任を持ち決定し、役員に知らせる。

### 同窓会ホームページのお知らせ

横浜医療センター附属看護学校  
ホームページを開き、  
『卒業生の方へ』にアクセスして  
ご覧いただけます。

### 同窓会の主な活動

- ＊毎月役員会（第1土曜日） ＊学校の各行事へ出席
- ＊3年生への同窓会説明会 ＊楓葉祭へ参加
- ＊同窓会誌「楓葉」準備・発行 ＊植樹式へ参加

### 住所変更届けのお願い

毎年同窓会誌「楓葉」を会員の皆様にお届けしております。皆様に届きますよう、改姓・住所変更等ありましたら、同窓会本部までお知らせください。よろしくごお願い致します。

## 編集後記

盛夏の頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。4月には熊本地震がありました。全国に同窓会員のいる我が同窓会としても、震災に遭われた会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。せめて、この会誌をご覧になり少しでも心癒して頂けたらと思います。

さて今回の男性看護師特集は、いかがだったでしょうか？我が校でも男子学生の募集が始まってから20年余り経ちましたが、男性看護師のニーズは確実に高まっています。とは言え、まだまだ女性の多い職種でもあります…。やりづらい事もあると思いますが、全国で頑張っている男子卒業生にエールを送りたい気持ちです。